

令和4年度 那覇国際高等学校 自己評価（PDCAシート）												
学校経営目標		①全職員での課題の共有化と協働・協力体制の確立 ②家庭や地域及び関係機関と連携した開かれた学校づくり ③自己肯定感に基づく確かな学力と国際的な広い視野を持った人材の育成 ④キャリア教育の視点を取り入れた進路指導の充実 ⑤学校事務の適正な管理・運営及び学習環境の整備・充実 ⑥働き方改革の推進及び職員の資質・能力の向上 ⑦各科（普通科、国際科）の特色を生かした魅力ある学校づくり								総合評価		
昨年度の成果と課題		今年度重点目標		具体的目標								A
新型コロナウイルス感染症拡大の中で、オンライン授業の実施等によって学習に遅れが生じないように対応した。また、様々な学校行事が一昨年度に続き例年と異なる形態での実施となったが、行事の意義や目的を再確認しながら実施内容や実施時期の変更等、工夫を行った。困難に直面しても様々な工夫を行い、乗り越えられることを生徒が実感できたことで、将来を生き抜く力の向上にも繋がった。  また、SGHの成果を引き継いだ「総合的な探究の時間」を本校の魅力の一つとして、より一層充実したものなるように推進したい。		【学校経営】 「チーム那覇国際」に向けた組織マネジメントの構築と学校課題への迅速な対応（全教職員体制による学校運営）	①職員の連携・協働体制（スタッフ会議の充実、早めの報連相）の確立と教育計画の円滑な実施 ②生徒支援体制の強化（長欠や不登校への早期対応、いじめの未然防止） ③保護者や関係機関との連携・協力（学校HPによる情報発信、三者面談、学級PTA等） ④PDCAサイクルに基づいた学校経営（教職員評価システム、各学期反省、学校評価等） ⑤私費会計を含む学校事務の適切な処理と適正・公正な予算執行 ⑥潤いゆとりのある教育環境の整備（環境美化の充実、施設・設備の適切な管理）									
		【学校教育の管理】 失敗を恐れず何事にも積極的に挑戦し、ワンランク上の進路実現を目指す主体的学習者の育成	①進路実現に向けた取組の充実（教育課程の完全実施、60分授業、諸講座、模擬試験等） ②主体的学習者の育成（学習支援ソフトの活用、朝学の活用、セミナーハウス自主学習の奨励） ③凡事徹底（基本的生活習慣の確立、あいさつの励行、時間厳守、規則・身なりの遵守） ④SGH活動の継続・発展（探究活動を通した課題発見・解決能力の育成） ⑤学校生活に潤いを与える行事の充実、時間内の効率的な部活動（体験活動による生きる力の育成） ⑥異文化理解教育並びに外国語教育の充実（海外留学・交流、語学研修、資格取得の推進）									
		【職員の育成】 働き方改革に基づく業務改善の推進及び研修の充実と服務規律遵守の徹底	①校内研修の充実、並びに校外研究及び先進校視察（先進事例研究）への積極的な職員派遣 ②風通しの良い職場環境作りとOJTの視点に立った普段からの自己研鑽の奨励 ③教職員評価システムの目標管理を活用した教職員の資質能力の向上 ④ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」に関する授業研究（公開授業や互見授業の推進） ⑤服務研修やコンプライアンス・リーダーを活用した職員の規範意識の醸成と服務規律の遵守徹底 ⑥職員の福利・厚生 の充実及び業務の効率化による働き方改革の推進（持続可能な職場づくり）									
部・学年	具体的目標		具体的方策				教職員	生徒	保護者	評価	総合	令和5年度改善案
教務部	本校の教育活動を円滑に実施するため、全職員の共通理解と協力体制の確立と、各部署間の連絡調整。	・各部、学年会、学校、教科等との連携を密にし、円滑な校務運営に努める。				A			A	A	引き続き、職員間の連携を強化し、公務の効率化を目指す。総探の研究を続け、学校目標の達成につなげる。	
		・校務遂行上必要なデータを収集・整理し、校務の効率化を図る。				A			A			
		・教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。				A	A	A	A			
		・「総合的な探究の時間」を特色ある学校づくりの要として位置づけ学校目標の具現化に努める。				B	B	B	B			
進路ガイダンス部	メタ認知力を高め、希望進路実現に向けて「自走できる生徒」の育成	・模試を希望進路実現までのマイルストーンと位置づけ、授業×自学による学習の向上を図る。				A	A	A	A	A	飛躍手帳について、職員間の共通理解をはかり、生徒の活用機会を高める。加えて模試の事前事後指導、第一志望届の作成による希望進路の早期決定を通して自律した学習者の育成をはかる。	
		・飛躍手帳の活用でPDCAサイクルを意識させ、振り返りの習慣化によってメタ認知力を養成する。				B	B	B	B			
		・主体的・自律的な学習のツールとして、スタディサプリの活用を推進する。				A	A	A	A			
		・1、2年次の志望理由書作成を通して自らの在り方生き方を考えさせ、進路選択の早期決定を促す。				A	A	A	A			
生徒ガイダンス部	服装・礼儀マナーアップ	・服装・礼儀マナー指導を通し、全職員の共通理解のもと、規範意識の育成を図る。				A	A	A	A	A	各部署と協力しながら、引き続き規範意識の育成を図っていきたい。新校時程スタート元年である令和5年度は、特に動意をはじめとする生活指導に力を入れたい。	
	学習環境整備マナーアップ	・適切な時期に動怠指導を始めとする生活指導を行い、学習に集中できる環境を作る。				A	A	A	A			
	スマホ等マナーアップ	・スマホ等マナー指導に力を入れ、SNSによるいじめ等問題行動の早期発見と解決に努める。				A	B	A	A			
1学年	基本的生活習慣の確立	・起床・学習・就寝時間の固定を促し、生活習慣の確立を実践できる力を育てる。				B	B	B	B	A	基本的生活習慣の確立が課題である。課題の提出期限や量を調節することによって、生徒の睡眠時間の確保を促す工夫が必要である。そのために、計画的な課題への取り組みを、HR、授業、学年集会等で周知徹底する。	
	学習指導の充実	・主体的・対話的で深い学びを通し、生徒が主体的に授業に参加する態度を育む。				A	A	A	A			
	進路指導の充実	・将来の職業を見据えた文理選択を促し、主体的にキャリアプランを考える力を育てる。				A	A	A	A			
	ホームルーム活動の活性化	・学級活動・学校行事を通し、適切な人間関係を構築する力を育てる。				A	A	A	A			
	保護者との連携	・三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。				A	A	A	A			
2学年	基本的生活習慣の確立	・凡事徹底（時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等）が実践できる力を育てる。				B	A	B	B	A	3年0学期の進路活動を軸に、凡事徹底に努めてまいります。各教科へ「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を呼びかけてまいります。情報発信に努めてまいります。	
	学習指導の充実	・「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、主体的に学習に取り組む「向学心や探究心」を育てる。				A	B	A	A			
	進路指導の充実	・進路ガイダンス部との連携を密にして、社会との接続を意識し、主体的に進路を選択できる力を育てる。				A	B	A	A			
	ホームルーム活動の活性化	・ホームルーム活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育てる。				A	A	A	A			
	保護者との連携	・2学年保護者用SWAYを活用した情報発信に努め、保護者との連携を密にする。				A	B	A	A			

学校関係者評価	
<div>A</div>	
A: 適切である B: 概ね適切である C: やや適切である D: 不適切である	
評価	評議員からの意見
A	・教科学習と総合探究の時間との両立が難しいと思えますが、生徒にとって有益だと思いますので、続けて頂きたいと思います。 ・全員一丸となり取り組んでいたように思います。
A	・手帳の活用は、自己コントロールが身につくと思いますので、入学時からの活用を促して下さい。 ・飛躍手帳の継続的、発展的使用の期待。 ・コロナで難しいなか、生徒の資質向上に努めていたいと思います。
A	・那覇国生は、この点に関しては、大きな心配はありませんが、身を守るためにもネットリテラシーの教育をお願いします。 ・親も含め、生徒に歩くことの意味をしっかりと伝えていけたらいいかと思います。
A	・早朝講座に関する功罪の議論はありますが、夜更かしは、学習や体調管理にいいことないので、早寝早起きの生活習慣を徹底して下さい。 ・伸び伸び学習できる環境作りが重要だと思いました。
A	次年度に向けて期待ができません。継続して下さい。 ・中学学年として3年生を尊敬しつつ、1年生の面倒を見て行けたらと思いました。

3学年	基本的生活習慣の確立	・凡事徹底を実践し、自己管理能力を育てる。	A	A	A	A	A	部活動引退後の勤怠状況の乱れ等、今年度の課題とその改善方法を来年度の3学年団にしっかりと引き継いでいく。	A	・コロナ禍の影響を受けた学年ですが、学校行事・生徒同志の交わり・教師との交わりがいかに大切かを身に染み込ませたい。 ・コロナが最も厳しい学年でしたが、先生たちの尽力で頑張れたと思いました。
	学習指導の充実	・「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、主体的に学習に取り組む自走力を育てる。	A	A	A	A				
	進路指導の充実	・明確な目的意識を持って日々の学校生活に取り組みながら、主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育てる。	A	A	A	A				
	ホームルーム活動の活性化	・ホームルーム活動の充実を図り、学校生活への適応を図るとともに、健全な生活態度を育てる。	A	A	A	A				
	保護者との連携	・日常の電話連絡および三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	A	A	A	A				
国際科	外国語の学習を通じて、異文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成。	・英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を一層伸ばす。	A	B	A	A	B	なぜ教職員と生徒の評価に乖離があるのか詳しく調べ、コミュニケーション能力に関する概念やコミュニケーション能力について共有する必要がある。	A	・国際科を目指している中学生は大勢いますので、ぜひ乖離を解決して頂きたい。 ・大人が考える国際化と生徒が感じる国際化は違うという前提で取り組んで行ければ良いかと思いました。
		・異文化について理解を深め、異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	A	B	B	B				
		・第2外国語(仏語、中国語、西語)を通じて、外国の事情について理解を深める。	A	B	B	B				
		・CALL教室などを有効利用し、ICTの積極的活用を図ることでコミュニケーション能力を育成する。	A	B	B	B				
環境保健部	生徒一人ひとりの人間性を尊重し、発達段階に応じて自主的に健康生活を実践する能力と態度の育成	・健康の保持増進と自他の生命を尊重する安全教育を徹底する。	A	A	A	A	A	【環境保健】年度をまたぐ情報共有の徹底を図る。また、事務部や各所と連携し施設状況の把握と改善に向けた早期対応が取れる体制を整える。 【教育相談】不登校の場合、まずは別室登校という考えを改め、教室登校できない理由の根本解決をSCや心療内科など専門家の力を借り関係各署と協力し目指す。	A	・カウンセラーの増員を県にも要望して頂きたい。親もどうしようもなく、まして、本人も苦しんでいると思います。よろしく願いします。 ・コロナという私たち大人が体験しえなかった課題があると思います。
		・学習環境の整備・充実を図る。	A	A	B	A				
		・校内緑化の促進及び美化を徹底する。	A	A	A	A				
		・教育相談及びカウンセリングの実践と充実を図る。	A	B	B	B				
		・特別支援教育の充実を図る。	A	B	B	B				
図書情報部	図書資料の利用に関する活動の促進。及びICT教育に関する機器の活用や校務の軽減、授業での活用の活性化・情報発信の充実	・図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	A	A	A	A	A	【図書】引き続き図書資料の利用促進に努め、委員会活動の活性化を目指す。 【情報】ICT機器の管理と活用に努める。機器の使用方法的講習やGIGA構想に係る授業での活用をすすめる。	A	・第1回目の評議委員会の時に図書館を拝見しました。充実していると感じました。継続をお願いします。 ・今は情報勝負の時代です。ICTの活用をさらに進めてください。
		・図書委員会活動を促進する。	A	A	B	A				
		・ICT機器の整備に努め、ICT機器の活用を推進する。	A	B	B	B				
		・進路相談支援システムの運用により校務の軽減を図る。	A			A				
		・ホームページの活用により情報発信に努める。	A			A				

人権	人権意識の高揚	・研修や講演会等を通しての人権意識の高揚を図る。	A	A	A	A	A	研修や講演会を通じた教職員の人権意識の向上、人権教育の充実、トラブル発生時の適切な対応プロセスの策定、不適切な指導への迅速な対応体制の整備、予防策の講じ方や相談窓口の設置、報告者の保護策などが挙げられる。継続的な改善を図るため、実施状況の定期的な評価も重要である。	A	・人権意識は高いと思います。しかし、見えない世界(ネット)等での人権も教育し続けてください。 ・積極的に取り組んでいたように思います。社会の中で人権について取り組んでいる人たちの話をもっと聞けたらいいですね。
	体罰・暴言等の根絶	・不適切な指導へ迅速な対応を行う。	A	A	A	A				
学習	授業時数の確保	・年間を通して授業時数の平準化を行い、確保する。	A	A	A	A	A	授業時間を確保し、平準化する。 観点別学習状況の評価結果をフィードバックすることで、生徒が学びを深めるための支援を行う。 生徒が主体的に学べるよう、授業内でのディスカッションやグループワークを積極的に取り入れる。 生徒の自学自習力を育成するために、適切な課題設定を行う。 教育環境全体において、生徒の自主性や主体性を育成する。	A	・早朝講座について社会で議論されていますが、効率的な学習時間の提供を行っていることに評価できます。継続をお願いします。 ・多くの時間を使うことも有効だと思いますが、少ない時間でどれだけ効果を高められるかということもすすめていければよいかと思います。
	観点別学習状況の評価の実施	・年間指導計画のや評価規準の共通理解を図り、学びに活かす評価を実施する。	A	A	A	A				
	不断の授業改善	・60分授業の良さを活かし、「わかる授業」の実践を推進する。	A	A	B	A				
	主体的学習者の育成	・適切な課題設定により、生徒の自学自習力を育成する。	A	A	A	A				

#### 自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ①職員間の連携を強化し、公務の効率化を目指すとともに、「総合的な探究の時間」の研究を続け、学校目標の達成につなげる。
- ②学習保障の観点から授業時間を確保し、各教科の時数の平準化を行うとともに、授業内容については生徒が主体的に学べるようディスカッションやグループワークを積極的に取り入れる。また、適切な課題設定を行い、生徒の自学自習力を育成する。
- ③飛躍手帳の共通理解をはかり、自律した学習者の育成をはかる。
- ④基本的生活習慣の確立が課題である。課題の提出期限や量を調節することによって、生徒の睡眠時間の確保を促す。
- ⑤各教科「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を行い、進路活動を軸に、凡事徹底に努める。
- ⑥教職員と生徒の評価の乖離について調査し、コミュニケーション能力やコミュニケーション能力について共有する。
- ⑦年度をまたぐ情報共有の徹底を図る。事務部や各所と連携して施設状況の把握と改善に向けた早期対応ができる体制を整える。
- ⑧教育相談が必要な生徒への支援として専門家とともにチーム学校として対処する。
- ⑨図書資料の利用促進とICT機器の管理と活用に努め、委員会活動の活性化を目指す。
- ⑩教職員の人権意識の向上やトラブル対応プロセスの策定、不適切な対応に対する対処方法の研修や講演会を通じた人権教育の充実を目指す。

## 令和4年度第2回学校評価

	質問事項 ※便宜上「自己評価(教職員)」の質問事項を掲載。	職員 (60)	生徒 (764)	保護者 (169)	総合 評価
教務	学年会や部会が円滑かつ計画的におこなわれており、職員会議等は、情報交換と課題検討の場として機能している。	3.4 A			A
	校務遂行上必要なデータは、ルールに則って適切に管理されており、効率化が図られている。	3.4 A			A
	本校の教育課程(類型制・選択科目制)は、生徒の興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	3.4 A	3.2 A	3.3 A	A
	「総合的な探究の時間」の学習は、生徒が自らの課題に気づいたり、物事を深く考えたりすることができ、各教科の学習へのいい影響となっている。	3.0 B	3.0 B	3.1 B	B
進路	私たちは、模擬試験の結果をふりかえらせたり、次の目標設定を行わせることにより、生徒の自学する力を育成している。	3.4 A	3.4 A	3.3 A	A
	私たちは、飛躍手帳を活用し、振り返りを習慣化させることにより、生徒の自己管理能力を育成している。	3.0 B	2.9 B	3.1 B	B
	私たちは、模擬試験の結果分析や学習支援ソフト(ステディサブリ)等を活用し、生徒に合った学びを提供している。	3.2 A	3.3 A	3.3 A	A
	私たちは、文理選択や受験科目に基づいた科目選択、進路講演会等での学習を通して、生徒の自分の生き方(キャリア)を考える力を育成している。	3.4 A	3.2 A	3.2 A	A
生徒指導	私たちは、生徒が気持ちよく学校生活を送れるよう、全職員共通理解のもと服装・礼儀マナー指導を通し、生徒の規範意識を高めている。	3.2 A	3.2 A	3.3 A	A
	私たちは、動怠指導を始めとする生活指導を行い、生徒の学習に集中できる環境をつくっている。	3.4 A	3.3 A	3.3 A	A
	私たちは、スマホ等マナー指導に力を入れ、生徒のSNSによるいじめ等問題行動の早期発見と解決に努めている。	3.4 A	3.1 B	3.2 A	A
1学年 (対象学年のみ 回答)	私たちは、起床・学習・就寝時間の固定を促し、生徒の正しく生活する実践力を育成している。	3.1 B	3 B	3.1 B	B
	私たちは、主体的・対話的で深い学びを通し、生徒が主体的に授業に参加する態度を育成している。	3.4 A	3.4 A	3.3 A	A
	私たちは、将来の職業を見据えた文理選択の機会を通し、生徒の主体的にキャリアプランを考える力を育成している。	3.3 A	3.3 A	3.2 A	A
	私たちは、学級活動・学校行事を通し、生徒の適切な人間関係を築く力を育成している。	3.5 A	3.5 A	3.3 A	A
	私たちは、三者面談等を通して保護者と連携して生徒の学校での生活やこれからのことについて一緒に考えている。	3.4 A	3.3 A	3.3 A	A
2学年 (対象学年のみ 回答)	私たちは、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)を通して、生徒の自己管理能力を高めている。	3.0 B	3.2 A	3.1 B	B
	私たちは、「主体的・対話的で深い学び」による授業を通して、生徒の主体的に学習に取り組む「向学心や探究心」を育成している。	3.5 A	3.0 B	3.2 A	A
	私たちは、進路ガイダンス部との連携して、生徒の主体的な進路選択する力を育成している。	3.5 A	3.1 B	3.2 A	B
	私たちは、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、生徒の自主的な企画力や、実践的に運営できる力を育成している。	3.5 A	3.3 A	3.2 A	A
	私たちは、積極的な学校の情報発信に努め、保護者と連携を図り、生徒の学校での様子を伝えている。	3.5 A	3.1 B	3.2 A	A
3学年 (対象学年のみ 回答)	私たちは、凡事徹底を実践し、生徒の自己管理能力を育成している。	3.2 A	3.2 A	3.4 A	A
	私たちは、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、生徒の主体的に学習に取り組む自走力を育成している。	3.4 A	3.2 A	3.4 A	A
	私たちは、目的意識を持って日々の学校生活を送らせることを通して、生徒の「主体的に自ら進路を選択・決定できる力」を育成している。	3.4 A	3.2 A	3.4 A	A
	私たちは、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、生徒の健全な生活態度を育成している。	3.3 A	3.3 A	3.3 A	A
	私たちは、三者面談等を通して保護者と連携して、生徒の学校での生活やこれからのことについて一緒に考えている。	3.7 A	3.3 A	3.3 A	A
国際科 (対象学科のみ 回答)	私たちは、英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察する活動を通して、生徒の伝える力を育成している。	3.8 A	3.0 B	3.3 A	A
	私たちは、異文化理解を深める学習活動を通して、生徒の「異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を育成している。	3.7 A	2.9 B	3.1 B	B
	私たちは、第2外国語の学習を通して、生徒の「外国事情についての理解する力」を育成している。	3.2 A	2.9 B	3.1 B	A
	私たちは、CALL教室などを有効利用し、ICTの積極的活用を図ることで、生徒のコミュニケーション能力を育成している。	3.5 A	2.9 B	3.1 B	A
環境保健	私たちは、生徒の健康面・安全面の対応をしっかりと行っている。	3.5 A	3.3 A	3.2 A	A
	私たちは、生徒の学習環境の整備・充実を図っている。	3.5 A	3.2 A	3.1 B	A
	私たちは、校内の緑化及び美化を推進している。	3.3 A	3.2 A	3.2 A	A
	私たちは、生徒の悩みや保護者からの教育相談相談に応じる体制が整っている。	3.7 A	3.1 B	3.1 B	B
	私たちは、「見やすさ」や「聞きやすさ」など生徒の特性に応じた配慮を取り入れている。	3.3 A	3 B	3.0 B	B
図書情報	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	3.6 A	3.5 A	3.3 A	A
	図書委員会は、活発に活動している。	3.3 A	3.2 A	3.1 B	A
	私たちは、ICT機器を整備し、生徒が授業等で利活用しやすい環境を整えている。	3.6 A	3.2 B	3.1 B	B
	進路相談支援システムの運用により校務の軽減が図られている。	3.2 A			A
	ホームページの活用により学校の情報が適切に発信されている。	3.5 A			A
人権	私たちは、生徒に対する人権意識の高揚を図るため、適宜職員研修を行っている。	3.4 A	3.2 A	3.2 A	A
	私たちは、職員や部活動指導者による生徒への体罰及び大声による恫喝、人格を否定する不適切な指導実態を速やかに把握できる対応を行っている。	3.4 A	3.2 A	3.2 A	A
学習	私たちは、教科学習をする上で十分に授業時数を確保している。	3.7 A	3.4 A	3.4 A	A
	私たちは、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について生徒に説明している。	3.5 A	3.3 A	3.2 A	A
	私たちは、授業内容をわかりやすく工夫し、生徒の学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	3.7 A	3.3 A	3.1 B	A
	私たちは、日々課題や宿題等により、生徒の自学自習の力を育成している。	3.2 A	3.3 A	3.2 A	A

A 4.0～3.2

B 3.1～2.4

C 2.3～1.6

D 1.5～1.0

	教職員	よくあてはまる…4	ややあてはまる…3	あまりあてはまらない…2	まったくあてはまらない…1	平均	評価
教務	学年会や部会が円滑かつ計画的におこなわれており、職員会議等は、情報交換と課題検討の場として機能している。	45.0	46.7	8.3	0.0	3.4	A
	校務遂行上必要なデータは、ルールに則って適切に管理されており、効率化が図られている。	40.0	55.0	5.0	0.0	3.4	A
	本校の教育課程(類型制・選択科目制)は、生徒の興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	41.7	56.7	1.7	0.0	3.4	A
	「総合的な探究の時間」の学習は、生徒が自らの課題に気づいたり、物事を深く考えたりすることができ、各教科の学習へのいい影響となっている。	26.7	50.0	21.7	1.7	3.0	B
進路	私たちは、模擬試験の結果をふりかえらせたり、次の目標設定を行わせることにより、生徒の自学する力を育成している。	50.8	40.7	8.5	0.0	3.4	A
	私たちは、飛躍手帳を活用し、振り返りを習慣化させることにより、生徒の自己管理能力を育成している。	23.7	55.9	18.6	1.7	3.0	B
	私たちは、模擬試験の結果分析や学習支援ソフト(ステディサブリ)等を活用し、生徒に合った学びを提供している。	28.3	61.7	10.0	0.0	3.2	A
	私たちは、文理選択や受験科目に基づいた科目選択、進路講演会等での学習を通して、生徒の自分の生き方(キャリア)を考える力を育成している。	43.3	56.7	0.0	0.0	3.4	A
生徒指導	私たちは、生徒が気持ちよく学校生活を送れるよう、全職員共通理解のもと服装・礼儀マナー指導を通し、生徒の規範意識を高めている。	25.0	70.0	5.0	0.0	3.2	A
	私たちは、動怠指導を始めとする生活指導を行い、生徒の学習に集中できる環境をつくっている。	41.7	53.3	5.0	0.0	3.4	A
	私たちは、スマホ等マナー指導に力を入れ、生徒のSNSによるいじめ等問題行動の早期発見と解決に努めている。	50.0	41.7	8.3	0.0	3.4	A
	私たちは、三者面談等を通して保護者と連携して生徒の学校での生活やこれからのことについて一緒に考えている。	39.1	60.9	0.0	0.0	3.4	A
1学年 (対象学年のみ回答)	私たちは、起床・学習・就寝時間の固定を促し、生徒の正しく生活する実践力を育成している。	16.7	75.0	4.2	4.2	3.1	B
	私たちは、主体的・対話的で深い学びを通し、生徒が主体的に授業に参加する態度を育成している。	39.1	56.5	4.3	0.0	3.4	A
	私たちは、将来の職業を見据えた文理選択の機会を通し、生徒の主体的にキャリアプランを考える力を育成している。	34.8	60.9	4.3	0.0	3.3	A
	私たちは、学級活動・学校行事を通し、生徒の適切な人間関係を築く力を育成している。	47.8	52.2	0.0	0.0	3.5	A
	私たちは、三者面談等を通して保護者と連携して生徒の学校での生活やこれからのことについて一緒に考えている。	39.1	60.9	0.0	0.0	3.4	A
2学年 (対象学年のみ回答)	私たちは、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)を通して、生徒の自己管理能力を高めている。	18.5	70.4	3.7	0.0	3.0	B
	私たちは、「主体的・対話的で深い学び」による授業を通して、生徒の主体的に学習に取り組む「向学心や探究心」を育成している。	50.0	46.2	3.8	0.0	3.5	A
	私たちは、進路ガイダンス部との連携して、生徒の主体的な進路選択する力を育成している。	50.0	46.2	3.8	0.0	3.5	A
	私たちは、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、生徒の自主的な企画力や、実践的に運営できる力を育成している。	53.8	42.3	3.8	0.0	3.5	A
	私たちは、積極的な学校の情報発信に努め、保護者と連携を図り、生徒の学校での様子を伝えている。	53.8	42.3	3.8	0.0	3.5	A
3学年 (対象学年のみ回答)	私たちは、凡事徹底を実践し、生徒の自己管理能力を育成している。	28.0	64.0	8.0	0.0	3.2	A
	私たちは、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、生徒の主体的に学習に取り組む自走力を育成している。	48.0	44.0	8.0	0.0	3.4	A
	私たちは、目的意識を持って日々の学校生活を送らせることを通して、生徒の「主体的に自ら進路を選択・決定できる力」を育成している。	40.0	56.0	4.0	0.0	3.4	A
	私たちは、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、生徒の健全な生活態度を育成している。	33.3	66.7	0.0	0.0	3.3	A
	私たちは、三者面談等を通して保護者と連携して、生徒の学校での生活やこれからのことについて一緒に考えている。	68.0	32.0	0.0	0.0	3.7	A
国際科 (対象学科のみ回答)	私たちは、英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察する活動を通して、生徒の伝える力を育成している。	77.8	22.2	0.0	0.0	3.8	A
	私たちは、異文化理解を深める学習活動を通して、生徒の「異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を育成している。	66.7	33.3	0.0	0.0	3.7	A
	私たちは、第2外国語の学習を通して、生徒の「外国事情についての理解する力」を育成している。	22.2	77.8	0.0	0.0	3.2	A
	私たちは、CALL教室などを有効利用し、ICTの積極的活用を図ることで、生徒のコミュニケーション能力を育成している。	55.6	33.3	11.1	0.0	3.5	A
環境保健	私たちは、生徒の健康面・安全面の対応をしっかりと行っている。	54.7	48.3	0.0	0.0	3.5	A
	私たちは、生徒の学習環境の整備・充実を図っている。	50.0	45.0	5.0	0.0	3.5	A
	私たちは、校内の緑化及び美化を推進している。	38.3	50.0	11.7	0.0	3.3	A
	私たちは、生徒の悩みや保護者からの教育相談相談に応じる体制が整っている。	70.0	26.7	3.3	0.0	3.7	A
	私たちは、「見やすさ」や「聞きやすさ」など生徒の特性に応じた配慮を取り入れている。	40.7	52.8	6.8	0.0	3.3	A
図書情報	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	61.7	36.7	1.7	0.0	3.6	A
	図書委員会は、活発に活動している。	36.7	58.3	1.7	3.3	3.3	A
	私たちは、ICT機器を整備し、生徒が授業等で利活用しやすい環境を整えている。	63.3	33.3	3.3	0.0	3.6	A
	進路相談支援システムの運用により校務の軽減が図られている。	35.0	53.3	11.7	0.0	3.2	A
	ホームページの活用により学校の情報が適切に発信されている。	50.8	49.2	0.0	0.0	3.5	A
人権	私たちは、生徒に対する人権意識の高揚を図るため、適宜職員研修を行っている。	46.7	43.3	10.0	0.0	3.4	A
	私たちは、職員や部活動指導者による生徒への体罰及び大声による恫喝、人格を否定する不適切な指導実態を速やかに把握できる対応を行っている。	51.7	40.0	6.7	1.7	3.4	A
学習	私たちは、教科学習をする上で十分に授業時数を確保している。	70.0	26.7	3.3	0.0	3.7	A
	私たちは、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について生徒に説明している。	55.0	43.3	1.7	0.0	3.5	A
	私たちは、授業内容をわかりやすく工夫し、生徒の学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	66.7	31.7	1.7	0.0	3.7	A
	私たちは、日々課題や宿題等により、生徒の自学自習の力を育成している。	41.7	40.0	16.7	1.7	3.2	A

	生徒	よくあて はまる… 4	ややあて はまる… 3	あまりあ てはまら ない…2	まったくあ てはまら ない…1	平均	評価
教務	本校の教育課程(類型制・選択科目制)は、私たちの興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	31.3	56.7	10.9	1.2	3.2	A
	「総合的な探究の時間」の学習は、自分にとっての課題に気づいたり、物事を深く考えたりすることができ、各教科の学習へのいい影響となっている。	25.3	48.4	22.4	3.9	3.0	B
進路	学校は、模擬試験の結果をふりかえらせたり、次の目標設定を行わせることにより、私たちの自学する力を育成している。	43.1	49.1	6.7	1.2	3.4	A
	学校は、飛躍手帳を活用し、振り返りを習慣化させることにより、私たちの自己管理能力を育成している。	24.2	42.3	28.6	4.8	2.9	B
	学校は、模擬試験の結果分析や学習支援ソフト(ステディサブリ)等を活用し、私たちに合った学びを提供している。	41.9	47.2	9.4	1.4	3.3	A
	学校は、文理選択や受験科目に基づいた科目選択、進路講演会等での学習を通して、私たちの自分の生き方(キャリア)を考える力を育成している。	35.8	53.5	8.8	1.8	3.2	A
生徒指導	学校は、みんなが気持ちよく学校生活を送れるよう、服装・礼儀マナー指導を通し、私たちの規範意識を高めている。	38.2	49.2	10.3	2.4	3.2	A
	学校は、勤怠指導を始めとする生活指導を行い、私たちが学習に集中できる環境をつくっている。	38.8	49.2	9.6	2.4	3.3	A
	学校は、スマホ等マナー指導に力を入れ、私たちのSNSによるいじめ等問題行動の早期発見と解決に努めている。	33.4	48.5	14.5	3.7	3.1	B
1学年 (対象学年のみ 回答)	学校は、起床・学習・就寝時間の固定を促し、私たちの正しく生活する実践力を育成している。	32.3	41.9	22.0	3.7	3.0	B
	学校は、主体的・対話的で深い学びを通し、私たちが主体的に授業に参加する態度を育成している。	42.8	49.1	7.9	0.3	3.4	A
	学校は、将来の職業を見据えた文理選択の機会を通し、私たちの主体的にキャリアプランを考える力を育成している。	43.8	47.3	7.9	1.0	3.3	A
	学校は、学級活動・学校行事を通し、私たちの適切な人間関係を築く力を育成している。	54.1	42.0	3.8	0.0	3.5	A
	学校は、三者面談等を通して保護者と連携して私の学校での生活やこれからのことについて一緒に考えてくれている。	41.7	49.7	8.0	0.6	3.3	A
2学年 (対象学年のみ 回答)	学校は、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)を通して、私たちの自己管理能力を高めている。	31.7	57.5	9.7	1.2	3.2	A
	学校は、「主体的・対話的で深い学び」による授業を通して、私たちの主体的に学習に取り組む「向学心や探究心」を育成している。	24.2	57.7	14.2	3.8	3.0	B
	学校は、進路ガイダンス部との連携して、私たちの主体的な進路選択する力を育成している。	26.3	61.8	10.4	1.5	3.1	B
	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、私たちの自主的な企画力や、実践的に運営できる力を育成している。	40.2	50.6	7.7	1.5	3.3	A
	学校は、積極的な学校の情報発信に努め、保護者と連携を図り、私たちの学校での様子を伝えている。	26.6	57.5	13.9	1.9	3.1	B
3学年 (対象学年のみ 回答)	学校は、凡事徹底を実践し、私たちの自己管理能力を育成している。	33.3	58.1	6.6	2.0	3.2	A
	学校は、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、私たちの主体的に学習に取り組む自走力を育成している。	33.5	53.5	12.0	1.0	3.2	A
	学校は、目的意識を持って日々の学校生活を送ることを通して、私たちの「主体的に自ら進路を選択・決定できる力」を育成している。	35.8	52.7	9.0	2.5	3.2	A
	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、私たちの健全な生活態度を育成している。	41.2	49.2	7.5	2.0	3.3	A
	学校は、三者面談等を通して保護者と連携して私の学校での生活やこれからのことについて一緒に考えてくれている。	38.4	51.0	8.1	2.5	3.3	A
国際科 (対象学科のみ 回答)	学校は、英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察する活動を通して、私たちの伝える力を育成している。	33.0	39.2	18.6	9.3	3.0	B
	学校は、異文化理解を深める学習活動を通して、私たちの「異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を育成している。	28.4	45.5	17.0	9.1	2.9	B
	学校は、第2外国語の学習を通して、私たちの「外国事情についての理解する力」を育成している。	25.0	47.6	16.7	10.7	2.9	B
	学校は、CALL教室などを有効利用し、ICTの積極的活用を図ることで、私たちのコミュニケーション能力を育成している。	24.4	43.3	24.4	7.8	2.9	B
環境保健	学校は、私たちの健康面・安全面の対応をしっかりと行っている。	45.1	44.5	8.4	2.0	3.3	A
	学校は、私たちの学習環境の整備・充実を図っている。	42.0	40.6	14.2	3.2	3.2	A
	学校は、校内の緑化及び美化を推進している。	35.7	51.3	11.3	1.7	3.2	A
	学校は、私たちの悩みや相談に応じる体制が整っている。	29.6	52.2	15.5	2.7	3.1	B
	学校は、「見やすさ」や「聞きやすさ」など私たちの特性に応じた配慮を取り入れている。	27.6	49.7	19.8	2.9	3.0	B
図書情報	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	59.1	36.5	3.6	0.8	3.5	A
	図書委員会は、活発に活動している。	40.5	44.7	13.0	1.7	3.2	A
	学校は、ICT機器が整備され、私たちが授業等で利活用しやすい環境となっている。	38.8	40.5	16.7	4.0	3.2	B
人権	学校は、講演会やHRでの資料配付等を通して、私たちの人権意識の高揚を図っている。	35.7	51.7	10.8	1.7	3.2	A
	学校は、職員や部活動指導者等による、生徒への体罰及び恫喝、人格を否定するなどの不適切な指導について、迅速に把握する体制をとっている。	39.9	46.7	10.8	2.7	3.2	A
学習	学校は、教科学習をする上で十分に授業時数を確保している。	52.5	38.3	8.2	0.9	3.4	A
	学校は、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について私たちに説明している。	45.7	43.6	9.4	1.2	3.3	A
	学校は、授業内容をわかりやすく工夫し、私たちの学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	40.4	48.2	10.2	1.2	3.3	A
	学校は、日々課題や宿題等により、私たちの自学自習の力を育成している。	41.0	46.2	10.0	2.8	3.3	A

保護者		よくあてはまる…4	ややあてはまる…3	あまりあてはまらない…2	まったくあてはまらない…1	平均	評価
教務	本校の教育課程(類型制・選択科目制)は、子どもの興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	35.5	57.4	5.3	1.8	3.3	A
	「総合的な探究の時間」の学習は、自分にとっての課題に気づいたり、物事を深く考えたりすることができ、各教科の学習へのいい影響となっている。	29.6	53.3	14.8	2.4	3.1	B
進路	学校は、模擬試験の結果をふりかえらせたり、次の目標設定を行わせることにより、子どもの自学する力を育成している。	43.8	46.7	7.1	2.4	3.3	A
	学校は、飛躍手帳を活用し、振り返りを習慣化させることにより、子どもの自己管理能力を育成している。	35.7	42.9	17.9	3.6	3.1	B
	学校は、模擬試験の結果分析や学習支援ソフト(ステディサブリ)等を活用し、子どもに合った学びを提供している。	35.1	58.3	4.8	1.8	3.3	A
	学校は、文理選択や受験科目に基づいた科目選択、進路講演会等での学習を通して、子どもの自分の生き方(キャリア)を考える力を育成している。	32.1	55.4	10.1	2.4	3.2	A
生徒指導	学校は、みんなが気持ちよく学校生活を送れるよう、服装・礼儀マナー指導を通し、子どもの規範意識を高めている。	40.5	53.6	4.8	1.2	3.3	A
	学校は、動怠指導を始めとする生活指導を行い、子どもが学習に集中できる環境をつくっている。	37.1	53.3	8.4	1.2	3.3	A
	学校は、スマホ等マナー指導に力を入れ、子どものSNSによるいじめ等問題行動の早期発見と解決に努めている。	26.9	66.5	6.0	0.6	3.2	A
1学年 (対象学年のみ回答)	学校は、起床・学習・就寝時間の固定を促し、子どもの正しく生活する実践力を育成している。	33.8	48.7	15.6	2.6	3.1	B
	学校は、主体的・対話的で深い学びを通し、子どもが主体的に授業に参加する態度を育成している。	43.8	45.2	8.2	2.7	3.3	A
	学校は、将来の職業を見据えた文理選択の機会を通し、子どもの主体的にキャリアプランを考える力を育成している。	36.1	51.6	11.1	1.4	3.2	A
	学校は、学級活動・学校行事を通し、子どもの適切な人間関係を築く力を育成している。	41.7	51.4	5.6	1.4	3.3	A
	学校は、三者面談等を通して保護者と連携して私の学校での生活やこれからのことについて一緒に考えてくれている。	40.3	48.6	11.1	0.0	3.3	A
2学年 (対象学年のみ回答)	学校は、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)を通して、子どもの自己管理能力を高めている。	23.2	66.1	10.7	0.0	3.1	B
	学校は、「主体的・対話的で深い学び」による授業を通して、子どもの主体的に学習に取り組む「向学心や探究心」を育成している。	30.2	62.3	7.5	0.0	3.2	A
	学校は、進路ガイダンス部との連携して、子どもの主体的な進路選択する力を育成している。	32.1	54.7	13.2	0.0	3.2	A
	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、子どもの自主的な企画力や、実践的に運営できる力を育成している。	34.0	52.8	13.2	0.0	3.2	A
	学校は、積極的な学校の情報発信に努め、保護者と連携を図り、子どもの学校での様子を伝えている。	35.8	43.4	20.8	0.0	3.2	A
3学年 (対象学年のみ回答)	学校は、凡事徹底を実践し、子どもの自己管理能力を育成している。	43.6	51.3	2.6	2.6	3.4	A
	学校は、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、子どもの主体的に学習に取り組む自走力を育成している。	50.0	42.1	5.3	2.6	3.4	A
	学校は、目的意識を持って日々の学校生活を送ることを通して、子どもの「主体的に自ら進路を選択・決定できる力」を育成している。	50.0	39.5	7.9	2.6	3.4	A
	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、子どもの健全な生活態度を育成している。	42.1	47.4	7.9	2.6	3.3	A
	学校は、三者面談等を通して保護者と連携して私の学校での生活やこれからのことについて一緒に考えてくれている。	47.4	36.8	10.5	5.3	3.3	A
国際科 (対象学科のみ回答)	学校は、英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察する活動を通して、子どもの伝える力を育成している。	45.8	47.7	8.3	4.2	3.3	A
	学校は、異文化理解を深める学習活動を通して、子どもの「異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を育成している。	38.1	38.1	14.3	9.5	3.1	B
	学校は、第2外国語の学習を通して、子どもの「外国事情についての理解する力」を育成している。	36.8	47.4	5.3	10.5	3.1	B
	学校は、CALL教室などを有効利用し、ICTの積極的活用を図ることで、子どものコミュニケーション能力を育成している。	35.0	40.0	20.0	5.0	3.1	B
環境保健	学校は、子どもの健康面・安全面の対応をしっかりと行っている。	34.0	56.6	7.5	1.9	3.2	A
	学校は、子どもの学習環境の整備・充実を図っている。	31.3	48.8	15.0	5.0	3.1	B
	学校は、校内の緑化及び美化を推進している。	31.7	57.8	9.9	0.6	3.2	A
	学校は、子どもの悩みや保護者からの教育相談に応じる体制が整っている。	24.5	57.9	15.7	1.9	3.1	B
	学校は、「見やすさ」や「聞きやすさ」など子どもの特性に応じた配慮を取り入れている。	18.1	63.1	16.9	1.9	3.0	B
図書情報	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	37.5	54.4	7.5	0.6	3.3	A
	図書委員会は、活発に活動している。	21.9	61.9	14.8	1.3	3.1	B
	学校は、ICT機器が整備され、子どもが授業等で利活用しやすい環境となっている。	27.5	54.4	16.3	1.9	3.1	B
人権	学校は、講演会やHRでの資料配付等を通して、子どもの人権意識の高揚を図っている。	32.1	57.9	9.4	0.6	3.2	A
	学校は、職員や部活動指導者等による、生徒への体罰及び恫喝、人格を否定するなどの不適切な指導について、迅速に把握する体制をとっている。	25.9	65.2	8.2	0.6	3.2	A
学習	学校は、教科学習をする上で十分に授業時数を確保している。	45.3	49.7	5.0	0.0	3.4	A
	学校は、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について子どもに説明している。	33.5	52.2	13.0	1.2	3.2	A
	学校は、授業内容をわかりやすく工夫し、子どもの学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	26.7	57.8	12.4	3.1	3.1	B
	学校は、日々課題や宿題等により、子どもの自学自習の力を育成している。	32.9	51.6	14.3	1.2	3.2	A

(別紙様式)

## 令和4年度学校評価の実施状況等調査

学校名	那覇国際高等学校
記載者名	黒島直哲

### 1 自己評価を実施した人数

	校 長	教 頭	事務長	教 諭	事 務	その他	計
実施人数	1	2	1	60	5	2	71

※その他 ( )

### 2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	4	1	0				5

※その他 ( )

### 3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	466	764	0				1230

※その他 ( )

### 4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他( )
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他( )

### 5 令和3年度の学校評価を踏まえ、令和4年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①学校HPやTeamsを積極的に活用して情報発信に取り組み、開かれた学校作りを行った。
②生徒の人権を最大限に尊重する職場作りを目指し、迅速に対応できる組織作りと職員研修の実施による意識向上に努めた。
③感染症防止対策に努め、授業や学校行事などの教育活動を円滑に営むことができるよう工夫した。

### 6 令和4年度の学校評価で明らかになった課題

①授業と連動した学習課題の在り方。
②国際科のカリキュラムにおける異文化理解及び、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成。
③教育相談及びスクールカウンセリング相談体制の充実。
④学習環境の整備。

### 7 令和4年度の学校評価を活かした令和5年度の改善点

①「総探」の研究により学校目標の達成を目指し、生徒の主体的な学びを促す。
②自律した学習者の育成を目的とし、飛躍手帳や模試の事前・事後指導、第一志望届の作成を通じた自己管理能力の向上に努める。
③コミュニケーション能力やコミュニケーション能力に関する共通理解を深める。
④年度をまたぐ情報共有の徹底や施設状況の早期対応を図る。
⑤不登校の場合には、専門家や関係各署と協力して教室登校できない理由の根本解決を目指す。

(第2号様式)

那覇国際第3206号  
令和5年3月20日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇国際学校  
校長 上江洲 隆  
(公印省略)

## 令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月14日 (木)	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議委員4名、PTA1名、 管理者4名、各主任8名
第2回	日時	令和4年12月16日 (金)	場所	書面開催	出席 状況	※書面による郵送回答
第3回	日時	令和5年3月17日 (金)	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議委員3名、PTA1名、 管理者4名、各主任8名

#### 2 学校評議員に求めた事項

- ①学校教育目標(学校経営グランドデザイン)の説明(第1回)
- ②各部・各学年の今年度の取組目標及び具体的方策の説明(第1回)
- ③各部・各学年の今年度取組における中間評価の結果説明(第2回)
- ④学校行事その他運営状況報告(教頭)(第1～3回)
- ⑤令和4年度学校評価結果説明(第3回)

#### 3 学校評議員の意見

- ①総合探究の時間と教科学習の両立。
- ②ネットリテラシーの教育と、ネット上での人権教育の充実。
- ③早寝早起きの生活習慣を徹底し、伸び伸び学習できる環境の充実。
- ④カウンセラー増員の県への要望と、教育相談が必要な生徒への対応。
- ⑤図書委員会の活発な活動と、ICT環境整備の促進。
- ⑥これまでの早朝講座の効率的な学習時間提供の評価と、これからの少ない時間での効果的な学習の推進。

#### 4 学校運営に反映した事項

- ① 総合的な探究の時間の実施方法の見直し及び教員の指導方法の改善。
- ② 各学年や生徒ガイダンス部及び該当委員会と連携し、モバイル端末を使用する上でのモラルやマナーの指導の充実。
- ③保護者と連携した生活習慣及び学習習慣の改善と、施設・学習環境の改善。
- ④ 教育相談体制における教員の研修の充実と、県教委との連携を軸にした生徒支援体制の強化。
- ⑤図書館機能の充実やICT機器の整備を行うことによる、より良い学習環境の構築。
- ⑥ICTを活用した効果的な授業改善による、生徒の学力向上。

#### 5 課題その他

- ・新たに導入された観点別学習状況の評価についての改善点の確認と、教職員間の共通理解。
- ・学習活動や評価の場面におけるICT機器の効果的な活用方法のさらなる研究。